

【プロジェクト名】学び続ける学校トップリーダーの資質向上事業

1 プロジェクトの目的・概要

教職大学院専門部会は、佐賀県教育委員会と佐賀大学大学院学校教育学研究科（以下、「佐賀大学教職大学院」）の連携・協働により、「学び続ける教師」の育成を目指すとともに、佐賀県における教職員の生涯学習システムを構築していくことを目的とする。

本事業では、佐賀県における「チーム学校」の実現に向けた推進役となる新たな学校管理職を「学校トップリーダー」と位置づけ、子どもを支えるネットワークの中の「学校」を意識し、多様で複雑な教育課題に対して組織的・効果的な対応を行うことができる「チーム経営」のマネジメント力を高めるため、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会が組織的に連携・協働して、学び続ける学校トップリーダーの資質能力の向上に取り組む。

2 令和6年度の実施実績

(1) 研修会の概要

研修プログラムは、セッション I から IV の全 4 回（1 セッション 2 時間程度）の構成であった。具体的には、佐賀県教員育成指標で掲げられた 13 種類の資質のうち、「管理…統率力」、「折衝・調整力」、「人材育成力」、「指導育成力」という 4 つを取り上げ、研修を行った。なお、今年度の研修形態については、多忙な管理職においてこれまでの評価や要望の高かったオンライン配信型を基本とし、一部のセッションについては講師の希望を受けて対面集合型でも実施した。講義動画を各自で視聴し、視聴後に感想・質問を提出してもらった。対面集合型では、会場で講義と質疑応答を行った。

(2) 対象、人数、期間、会場、日程、講師

研修対象者は、佐賀県の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校長・副校長・教頭とし、定員は各セッション 30 名程度で募集した。また、研修内容の受講は 4 つのセッションの中から自由に選択でき、かつ複数の受講も可能な形をとった。令和 6 年度の実施期間、日程、講師、受講者数を表 1 に示す。

表 1 令和 6 年度の実施状況

セッション 配信期間	研修内容	講師	対面開催日 ・場所	受講者数
I 9月10日 ～9月27日	管理・統率力	宮崎 耕一 (西九州大学准教授) 上赤 真澄 (佐賀北高等学校長)	—	64名
II 10月15日 ～11月1日	折衝・調整力	鈴木 明子 (佐賀県立 宇宙科学館館長)	10月8日(火) 13時半～ 佐賀大学	45名 (うち 対面8名)

Ⅲ 11月5日 ～11月29日	人材育成力	福成 有美 ((株)アテンド 代表取締役)	10月1日(火) 13時半～ 佐賀大学	53名 (うち 対面9名)
Ⅳ 12月3日 ～12月27日	指導育成力	友田 諭 (友研飲料社長)	—	44名

3 令和7年度の実施計画

令和7年度においても、学校トップリーダーを対象として、佐賀県教員育成指標に基づき、佐賀県の教育課題、学校における働き方改革の要請に対応する力を育成する研修プログラムを開発し実施する。具体的には、佐賀県教員育成指標（令和5年3月改訂）で掲げられた13種類の資質のうち、「職務遂行能力」「判断・決断力」「折衝・調整力」「指導育成力」「管理・統率力」「学校組織の理解と運営」「人材育成」「危機管理」の資質・能力8項目について、ローテーションで取り上げていく。今年度は「危機管理」「コミュニケーション」「人材育成」という3つで研修を行う。研修の形態については、これまでのアンケート等における本オンライン配信型研修についての評価も高く、多忙な管理職においてはオンデマンドによる開催継続の要望があるので、今年度もオンライン配信型で計画し、講師の希望によって対面集合型も検討する。具体的な内容については、学校トップリーダー研修開発ワーキングチーム会議で検討を行う。

(1) 研修対象

研修対象者は、佐賀県の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校長・副校長・教頭とし、定員を各セッション30名程度とする。3つのセッションのうち受講したいものを自由に選択してもらう。

(2) 研修内容

セッション	研修内容	予定講師
セッションⅠ 8月8日(金)～29日(金)	危機管理	弁護士
セッションⅡ 9月9日(火)～26日(金)	コミュニケーション	校長経験者3名程度
セッションⅢ 11月11日(火)～28日(金)	人材育成	異業種等の有識者

※それぞれの期間は研修動画を視聴できる期間である。